

学校ビオトープの今と

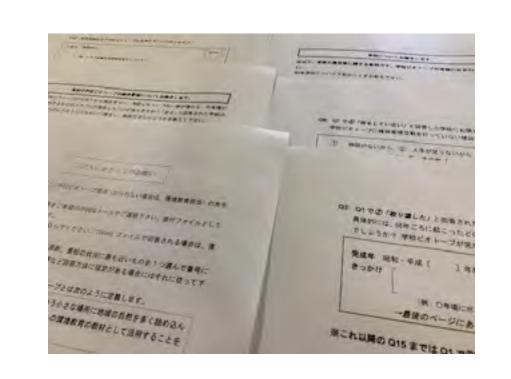
写真:甲賀市立油日小学校

本業生 大島和香那さん(2016 年度卒業)



学校ビオトープの維持管理の難しさ

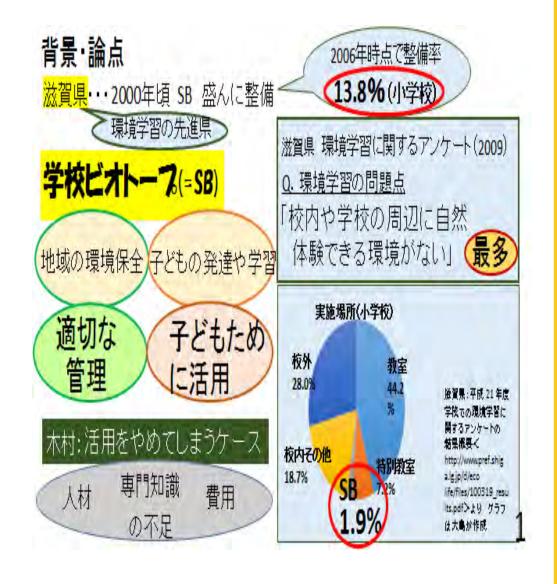
自然体験できる場を子ども達に提供する学校ビオトープが滋賀県内の小学校にはたくさんあります。しかし学校ビオトープを長期的に管理・活用していくことは簡単ではありません。そこでどのようにしたら長期的に管理・活用できるのかを研究しました。



調査 分析

アンケート・電話ヒアリング・現地調査

県内全小中学校331校にアンケート用紙を郵送し、回答がなかった 学校には電話でヒアリング調査をしました。その結果、うまく管 理・活用できていると思われた学校には現地調査を行いました。



問題解決の 糸口発見

調査の結果、長期的に管理・活用するためには高い頻度で維持管理活動を行うこと、教職員の日頃の手入れと年に数回、保護者との大掛かりな整備活動を並行して行うこと、関係者が共通の意識を持ち、それらを目に見える形で表すことなどが大切であるとわかりました。

"問題、を探せ。答えを探すな

滋賀県立大学 環境科学部

環境政策·計画学科

http://depp-usp.com

学科への入学を希望されている方へ

入学当初は卒論を完成させるなんて途方もないことのように感じていました。研究を進める中、1回生の頃から積み重ねた実践的な学びが何度も自分を助けてくれたように感じます。卒論が完成した時の達成感は格別です。